

図書館だより

2018年 南池田中学校

5月

5月に入り、新緑がまぶしい、気持ちのいい季節になりました。窓を開けると、さわやかな風が入ります。部屋の空気を入れ替えて、落ち着いた気持ちで、読書や、勉強などに取り組みましょう！

図書館は、1年生のオリエンテーションも終わり、いよいよ全学年の貸し出しが、スタートしました。朝読の本選びをしたり、授業で気になったことを調べたり、また、一休みしたいときは、好きな小説を読んだり、探したり…。図書館にたくさん通って、図書館の本を、活用して下さいね。

月	火	水	木	金	土	日
	1 ☆ 家庭訪問 当番なし	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7 ☆ 家庭訪問 当番なし	8 ☆ 家庭訪問 当番なし	9 ☆ 家庭訪問 当番なし	10 ★ 3-3 委	11 ★ 3-5 委	12	13
14 ★ 2-1 委	15	16 ● 3-6 委	17 2年 内科検診	18 ★ 2-2 委	19	20
21 ★ 2-3 委	22 ☆ 2-4 委	23 ★ 2-5 委	24 中間テスト	25 中間テスト	26	27
28 ☆ 2-6 委	29 ☆ 1-1 委	30 ★ 1-2 委	31 1年 内科検診			
開館時間 ★9:00～16:00 ☆9:00～13:30 ●9:00～15:30 ※会議などで予告なく閉館することがあります。 ※□ 閉館日 ※○-○委 図書委員 当番のクラス						

★新学期の委員会活動が、はじまりました。本年度も、図書委員さんに、昼休みの貸し出し業務のお手伝いをお願いします。

新一年生も、今月より、図書当番が、始まります。カレンダーにクラス名がある日は、忘れず図書館に来て下さいね。

お知らせ 1

キリ番、始めます！

図書館では、開館日(4/16～)から、貸し出した本の冊数をカウントし、その累計冊数が、キリのいい冊数(例えば1000冊目など)になった時に、借りた人を発表しています。キリ番にあたった人には、記念に、図書館から、本の付録など、プチプレゼントを進呈しています。

今年度は1000冊目からスタートします。今年度のキリ番はだれにあたるかな？お楽しみに…。

お知らせ 2

目指そう 100冊！！

今年度も、貸し出し冊数が、年間100冊を超えた人には、特製個人貸し出しカードを、発行します。図書館のオリジナルカードで、裏面には、今年度のイラストが入っています。読書100冊 突破を目指してがんばろう！

特製個人貸し出しカードのイラストを募集します！！

カード裏面に載せるイラストを、募集します。応募する人は、図書館に用紙をとりに来てください。応募してくれた人の中から1点を選び、今年度の特製貸し出しカードの絵柄にします。

締め切り 5月31日

★参加者全員に特製しおりをプレゼントします、どんどん応募して下さいね。

★ 4月に入った新しい本 ★

- 探偵が早すぎる 上 井上真偽
- 君はレフティ 額賀 滯
- Q→A 草野たき
- 国境なき医師団を見に行く いとうせいこう
- 分かれ道ノストラダムス 深緑野分
- 世界の果てのこどもたち 中脇初枝
- 魔法科高校の劣等生 25 エスケープ編 下 佐島勤
- Re:ゼロから始める異世界生活 16 長月達平
- ソードアート・オンラインプログレッシブ 005 川原 礫



今月のおススメ本



■ 森ではたらく! 古川大輔・山崎亮 編

森ではたらく。という皆さん、どんな仕事を思い浮かべますか？この本には、森をキーワードに、27人の27通りの仕事について書かれています。例えば、森を香らせる人（森の植物で、エッセンシャルオイルを作り出す人）。また、森で育てる人（森の幼稚園を運営する人）など。この本に登場する人々は、みんな、森が大好き。森のためにできることを、働く中で見つけていく努力を惜しみません。森に興味がある人も、そうでない人も、この本に登場する人々の、働く姿勢から、多くのことを学ぶでしょう。5月4日は「みどりの日」。自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心をはぐむ日だそうです。この本を読んで、森や山、自然について考えてみましょう。



■ かがみの孤城 辻村深月

あることがきっかけで、不登校になってしまい、閉じこもっていたところ。ある日突然、ここの部屋の鏡が光り始めます。その鏡に吸い寄せられるように、こころは、鏡の中へ……。鏡の中には、城のような不思議な建物。そこには、こころと似た境遇の7人が集められていました。なぜ、この7人がこの場所に……。すべてが明らかになる時、驚きとともに、大きな感動に包まれます。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。

2018年 本屋大賞受賞作！！一気読み必至！です。



■ 「さよなら、田中さん」 鈴木りか

主人公の田中さんは、小学6年生。底抜けに明るくたくましいお母さんと毎日楽しく生活している。そんな田中さんのまわりでおこる出来事を、時に可笑しく、時にはほろりと涙が出る筆致で描いています。5編の連作短編集。

著者の鈴木りかさんは、なんと、みなさんと同じ中学生です。

「12歳の文学賞」史上初3年連続大賞受賞！



■ 「Q→A」 草野たき

いろいろなアンケートに、中学生が答える形式で、中学生の本音を探ります。野崎朝子をはじめ、クラスメイト達が、アンケートの質問に答えることで、自分のほんとうの気持ちに気づいていきます。この本の中の、みんなの悩みをのぞいてみることで、自分の悩みの解決策が、見つかるかもしれませんよ。



■ 「分かれ道 ノストラダムス」 深緑野分

高校生のあさぎは、2年前に亡くなった、友人の基が遺していた日記を、譲りうける。その日記に書かれた、ある記述から、基が死なずにすんだ可能性をさがすことにしたあさぎ。あることをきっかけに仲良くなった、クラスメイトの八女とともに、基の死の直前の行動を再現する。そんな二人を追う影があった……。そのころ、ノストラダムスの大予言に影響された新興宗教の信者が、立て続けに謎の死を遂げるなど、不穏な動きをみせていた。教団とあさぎたちの目的は、次第に思いもよらぬ形で交わっていく……。ハラハラドキドキの展開。



■ 君はレフティ 額賀滯

夏休み中、交通事故にあい、主人公の古谷野は、すべての記憶を失ってしまう。カレンダーに書かれた約束の日時。書いた記憶はないが、約束の場所へ行ってみることにした古谷野。そこには、同じ写真部だった、春日と生駒がいた。

新学期が始まり、学校に復帰した古谷野。クラスメイト達も暖かく迎え入れてくれ、少しずつ学校生活を取り戻していく古谷野。しかし相変わらず過去の記憶はない、古谷野。そんな中、文化祭前のある日、チョークで7.6と書かれた落書きが発見される。その後も、場所をかえ、書き込まれる7.6の落書き。それは、古谷野への何かメッセージのようだった。その謎を追っていくうちに、次々と見えてきた親友、春日、生駒の秘密……。そして……ラストにみえてきた真相とは……。